

ニューズレター No.116

発行人 矢島 彰

2024(令和6)年10月10日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.116をお届けいたします。今回は、編集委員会より、会誌『リメディアル教育研究』について、

第19巻の発行予定および第20巻以降の予定についてお知らせいたします。

第19巻の発行予定および第20巻以降の予定

会誌『リメディアル教育研究』は2006(平成18)年3月31日に第1巻が発行され、第3巻から第11巻まで、1巻あたり2号の冊子を発行してきました。第12巻からは1巻あたり1号の発行に変更し、冊子の発行とJ-Stageによる公開を併用することに変更し、現状に至っています。第19巻からはJ-Stageによる公開を年2回とし、1巻あたり2号の発行に変更し、第3巻から第11巻までと同様な形式といたします。

表1. 会誌『リメディアル教育研究』の発行状況

巻	号	発行日
1		2006年3月31日
2	1	2007年3月31日
3	1	2008年3月31日
	2	2008年9月30日
4	1	2009年3月31日
	2	2009年9月30日
5	1	2010年3月31日
	2	2010年9月30日
6	1	2011年3月31日
	2	2011年9月30日
7	1	2012年3月31日
	2	2012年9月30日
8	1	2013年3月31日
	2	2013年9月30日
9	1	2014年3月31日
	2	2014年11月30日
10	1	2015年3月31日
	2	2015年10月31日
11	1	2016年3月31日
	2	2016年12月31日
12		2018年7月1日
13		2019年5月1日
14		2020年7月1日
15		2021年6月1日
16		2022年7月1日
17		2023年6月1日
18		2024年6月1日

現時点では、第19巻第1号は2024年10月31日、第2号は2025年3月31日にJ-Stageに公開する予定です。表1に過去の会誌の発行状況を示します。1巻あたり2号の発行となった第3巻の時期の会則(2005(平成17)年10月2日発効)には、本学会の会計年度は4月1日から3月31日と規定されていましたが、慣例的に当該年の全国大会での定例総会から次年の定例総会の期間が実質的な事業年度と考えられていたため、第1号の発行日が3月31日、第2号が9月30日をいう年度をまたいだ発行は特に問題とは考えられていませんでした。その後、2010(平成22)年9月1日に発効した会則では、事業年度が4月1日から3月31日と規定されることになりましたが、年度をまたいだ会誌発行という慣例は継続されてきました。また、第9巻以降、発行が遅れることや、第12巻以降は発行日のばらつきが生じています。一方で、1巻2号発行から1巻1号発行への移行期の2017(平成29)年には、発行していません。

2024(平成6)年度はすでに第18巻が発行されていますので、冊子は1号のみですが、年度内に3号が公開されるという変則的な状況が生じますが、第20巻からは、J-Stageでの第1号と第2号の公開日を9月30日と翌年の3月31日に固定し、事業年度内に発効される定期刊行物とするための調整期間として、ご了承いただきたいと考えています。また、早期公開は、「論文」、「研究ノート」、「実践研究論文」と「実践報告」の種別については、従来通り継続していきますので、引き続き安心して投稿をお願いいたします。

第20巻では、上記の定期的な発行に加え、誌面の改訂も計画しています。現行の誌面の1ページ当たり24字×42行×2段(2,016字)を、26字×50行×2段(2,600字)に変更し、1ページ当たりの情報量を約1.3倍に増加させ、1巻のページ数を約77%に削減する予定です。これに加え、学会ホームページから入手可能な著作権規程、投稿規程、執筆要項および投稿・査読システム操作マニュアルは省略することを検討しています。

以上、会誌『リメディアル教育研究』は第19巻から第20巻にかけて、いくつかの変更を予定しておりますのでお知らせいたします。

【文責】寺田 貢(会誌『リメディアル教育研究』編集長)



日本リメディアル教育学会